



白亜紀の黄昏

—前田晴良副館長 退職記念展示—

伊都キャンパス・フジイギャラリーにて白亜紀最末期のアンモナイト化石(実物!)を直接手で触れることができるハンズオン形式で展示します。

これらは1990年代にロシア共和国サハリン州で実施した日ロ共同研究(海外学術調査)で採集し、正式な許可を得て日本に持ち帰った貴重な標本です。サハリンには白亜紀最末期に堆積した地層が広く分布しており、九州大学は他に先駆けて戦前からサハリンの調査を行ってきました。

サハリンの地層と化石の調査研究は、現在も継続中です。中生代に栄えた多くの生物が次第に衰退してゆく「白亜紀の黄昏」の中で、最後の輝きを放った絶滅直前のアンモナイト数種の実物化石をぜひご覧下さい。



2024 **2/16** [金] **5/31** [金]

白亜紀の黄昏 —前田晴良副館長 退職記念展示—

会場 ● 九州大学 伊都キャンパス フジイギャラリー

休館日 ● 土・日・祝日 [2月17日(公開講演会)は開館、その他イベントに合わせて土日特別開館あり]

主催：九州大学総合研究博物館